



写真:アケボノソウ (撮影:平成28年9月28日)

# 「アケボノソウ」

夜明けの空 輝く星々

少し肌寒さを感じ始めたころ、ハイキングコースにはリンドウ、センブリ、アケボノソウなどのリンドウの仲間が美しい花を咲かせます。多くのリンドウの仲間は日当りの良い草地などを好みますが、アケボノソウは谷筋や湿地などの湿った環境を好み、えびの高原、アバント白鳥郷土の森などに比較的多く見られます。大きくなると大人の腰の高さほどにもなり暗い林内では目立ち、一株あると周りにも多数発生していることが多いようです。

漢字で書くと「曙草」。白い花びらを夜明けの空に、黄色と紫色の点を輝く星々に見立てたようです。花の美しさをさらに引き立てるようなこの和名をつけた人の想像力、観察眼には感心してしまいます。

黄色の大きな点は「蜜腺」といってここから甘い蜜を出します。昆虫を呼び寄せ、雄しべや雌しべに触れさせ受粉をする仕組みなのでしよう。

自然の造形美、構造美。知れば知るほど魅力的に感じます。  
 (文/えびのエコミュージアムセンター)

アケボノソウ  
*Swertia bimaculata*

リンドウ目 リンドウ科